

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1187	保健衛生普及事業	国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	02		
		保健事業費	06		
7	老後の生活や低所得者の自立を支える	保健事業費	01		
		保健衛生普及費	01		
		健康福祉部健康保険課	101		
		保健衛生普及費	01		
担当者氏名	内田 秀弘	連絡先	22-9659	細目	01
作成者氏名				細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	国民健康保険被保険者で人間ドックまたは脳ドックの受診者	受信者の病気の早期発見に役立つ
本年度事業内容	下記ドックを毎年行っている。 人間ドック 600人 (自己負担額8,500円) 脳ドック 275人 (自己負担額9,000円)	
開始年度	昭和 33 年度	終了年度 平成 年度
		根拠法令・要綱等 国民健康保険法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	21,013	33,653	33,653
需要費	651	980	980
役務費	3,537	5,064	5,064
委託料	16,825	27,609	27,609
その他			
合計(A+B)	28,213	40,853	40,853
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	15,379	4,000	4,000
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	12,834	36,853	36,853
上記①～③に関する特記事項			
臨時職員 0.5名			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
脳ドック受診者	人	257	275	275			
人間ドック受診者	人	326	600	600			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
人間ドック申込者/人間ドック募集者	人間ドック申込者を分子とし、人間ドック募集者を分母として適用比率のを指標としました	%	86 目標 ( )	100	100
脳ドック申込者/脳ドック募集者	脳ドック申込者を分子とし、脳ドック募集者を分母として適用比率のを指標としました	%	108 目標 ( )	100	100

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併後受診募集数を増やし行っているところではありますが、脳ドックについては募集数を超える人数が応募されてきており抽選で受診者を決めているところであるが受診時にキャンセルがあり定数より減となる。施設の受け入れが現状よりふやすことが出来ない状況であるので、今後施設側に受け入れ人数の増をお願いする

評価	必要性	4	脳ドックは応募数に対し申し込み者数が多いが、人間ドックは各種検診の効果が出ている事もあり申込者が少ない状況である	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	3		